

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。

学校名	茨城大学	個人・グループ名	田丸 甫	作品名	マルチ本棚
-----	------	----------	------	-----	-------



○製作の動機

私が普段使用している机の上にはノートパソコンが常に置いてあり、使用しないときにはスペースをせまくしてしまうと感じていました。そこで、ノートパソコンを使用しないときには本棚に収納できるスペースがあると便利だと考え、ノートパソコンが収納できるオリジナルの本棚を製作することにしました。

○利用方法

ノートパソコンを使用する机で、スペースを広く利用したいときや、ノートパソコンを使用していないとき、本棚に収納するのに利用します。

○作品の特徴・工夫点

- ・本棚の強度を釘で接合するときよりも強く、さらに見た目でもできるだけシンプルにしようと考え、材料を接合するときには釘を一切使用せずに、追い入れ組み接ぎを使用しました。
- ・私が将来技術科教員になることを想定し、中学生が普通の授業で使い慣れている道具の技能をさらに向上することが必要であると考え、加工は全て手加工で行いました。
- ・ノートパソコンを収納するための引き出し部にキャスターや取っ手などを取り付けることによって、引き出しの出し入れの操作をよりスムーズにすることができました。
- ・2段になっている本棚をつけることによって、ノートパソコンや本だけでなく、小物などを収納することができるスペースを作りました。
- ・作品の仕上げとして油性のニスを使用することによって、木目を生かし、使用していく上で傷が付きにくい作品にすることができました。
- ・材料費を抑えるためにきわはぎを行い、1800×300の板材2枚の範囲内で設計し、材料を余らすことなく使用しました。
- ・本棚の高さをA4サイズよりも大きくすることで、さまざまなサイズの本やファイルを収納できるようになりました。

